

資料配布の場所

1. 国土交通記者会
 2. 国土交通省建設専門紙記者会
 3. 国土交通省交通運輸記者会
 4. 筑波研究学園都市記者会
- 令和6年3月29日同時配布



令和6年3月29日
国土技術政策総合研究所

国総研資料第1261号『集合住宅における居住者の音環境評価に関するオンライン調査報告書』を刊行します

- 国総研では、集合住宅居住者10,000人を対象としたオンラインアンケートを実施し、音環境の実態や音環境に対する評価、住宅選択時における音環境の重視の程度等について調査した報告書を公表しました。
- 本報告書は、集合住宅居住者が実際に感じている居住空間の音環境について、大規模に調査した詳細なデータとして、現状把握のみならず、今後の対策を検討するための基礎資料となります。

<概要>

- ◇ 「こども未来戦略方針」(令和5年6月13日閣議決定)や、「住生活基本計画(全国計画)」(令和3年3月19日閣議決定)で、住宅の遮音性能に関する取り組みが触れられています。
- ◇ カーボンニュートラルの実現に向け、炭素貯蔵効果の高い木材の建築・住宅分野での積極的な利用が促進されていますが、木造建築物はRC造建築物よりも遮音性能が一般的に低く、音環境の快適性向上が課題となっています。
- ◇ 住宅相談統計年報において、紛争処理の争点となった主な不具合事象として、2015年から2020年まで「遮音不良」と「異常音」が常にランクインしています。集合住宅取得者のなかでは、遮音性能が問題と感じている方が比較的多い事象となっています。
- ◇ 本資料では、「住宅所有形態」、「集合住宅の構造」の別に、音環境の実態や音環境に対する評価、住宅選択時における音環境の重視の程度、遮音性能の実態等をとりまとめました。

<資料の公開先:国総研ホームページ>

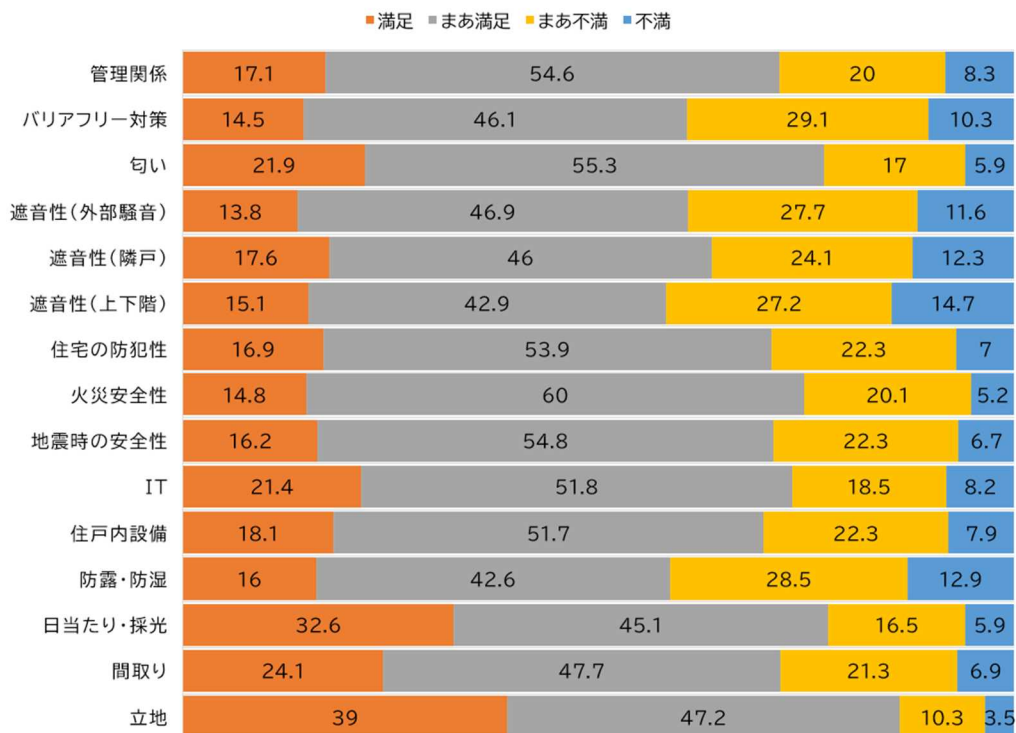
国総研資料1261号「集合住宅における居住者の音環境評価に関するオンライン調査報告書」
ダウンロード先URL：<https://www.nilim.go.jp/lab/bcg/siryoku/tnn/tnn1261.htm>

(問い合わせ先)

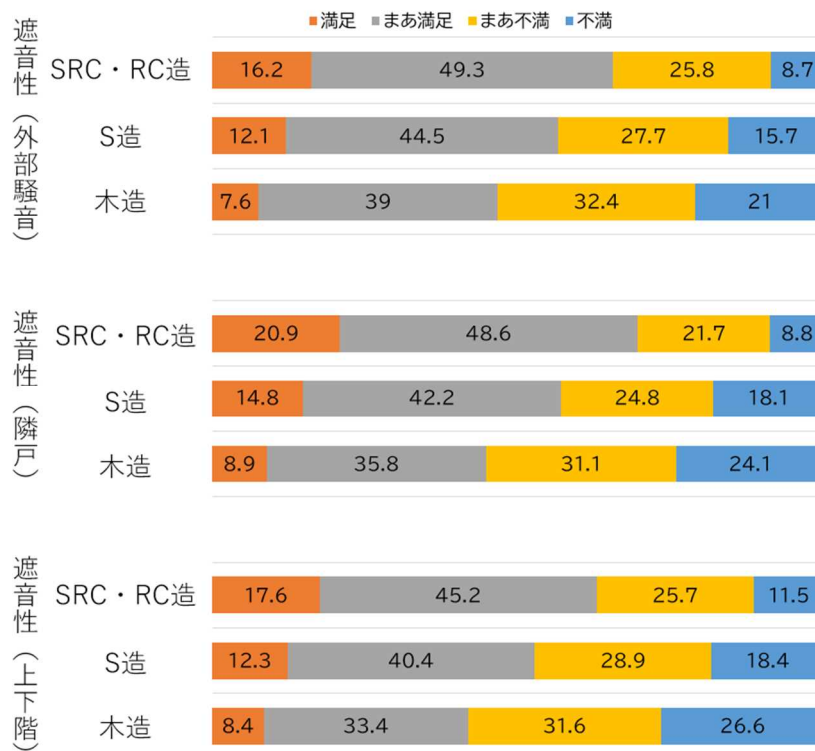
国土技術政策総合研究所 建築研究部 設備基準研究室
主任研究官 平川 侑(内線4319)
TEL:029-864-4356
E-mail: hirakawa-s92ta @mlit.go.jp

<参考資料>

◇ 住宅の満足度に関して、「立地」や「日あたり・採光」に対する満足度が住宅の所有関係や構造種類にかかわらず全体的に高い一方で、「遮音性」や「防露・防湿」に対する不満は高い割合が示されていました。



◇ 特に木造の住宅では遮音性に対する不満が高く、上階や隣戸からの音に対する不満が高いことが示されていました。この傾向は、程度は異なるが、SRC・RC造やS造の建物においても見られ、遮音性の確保は集合住宅において重要な課題であることが示されていました。



◇ 住宅の所有関係別には、「分譲」に比べて、「賃貸住宅(民営賃貸、都道府県・市町村営賃貸、UR・公社等、寮・社宅)における「遮音性」に対する不満は高く、賃貸住宅における遮音性能の確保が重要な課題であることが示されていました。

